



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL: 072-957-2121

FAX: 072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



はびきのガンバレ!

院長 かわせ いちろう 川瀬 一郎

皆さん、いかがお過ごしですか。今年の夏は暑さも雨も桁外れでしたね。9月末になっても、まだ残暑と蒸し暑さが残っていましたが、どうぞ体調管理にはご留意下さい。野菜と散歩が効果的です。楽天イーグルス田中マー君の主食は、リンゴの皮をまぶした玄米だそうですよ。

さて、入院療養では看護師さんの看護が極めて重要であり、そのため看護師さんを多く雇用してより多くの重症患者さんを収容している病院に対しては、当然ながらより多くの診療報酬が支払われるようになっていきます。当院ではできるだけ多くの看護師さんに働いてもらっており重症者の多い一般病棟ですでに最高額の看護加算を頂いておりますが、日本全国多くの病院もすでに同様の看護体制を確立してそれぞれ最高額の看護加算を獲得するようになってきました。

我が国の厚生労働省は常々病院を機能や特色によって差別化することに大きな熱意を払ってききましたが、このたび同省は新たな病院群として超急性期（大変な重症）の患者さんに対応できる病院群を選別しようとしているそうです。これには救命・救急センターのある大学病院や一部の大病院のみしか該当しません。それ以外は急性期病院（通常の病院）、慢性期病院（リハビリや長期入院）、老健施設というように区分され、それぞれに診療・看護加算の限度を前もって決めておくようです。当然、最高額の看護加算は、超急性期病院しか獲得できないでしょう。

当院は急性期の患者さんが多い病院ではありますが、結核・呼吸器・がん・アレルギーではどうしても長期入院や慢性期での入院も避けられません。また緩和ケア病棟を設けたことでもお分かりのように、「最期まで診る」というのが当院のモットーです。しかし新方式での病院区分と診療報酬改訂が導入されれば、当院はこれまでどおりの加算が得られないかもしれません。

でも当院としてはこれまでどおりの姿勢、すなわち結核・呼吸器・がん・アレルギーを中心に「個々の患者さんに個々の治療を最期まで」提供していきたいと考えています。皆さん、どうぞ当院をごひいきにいただき、一人でも多くの患者さんをご紹介ください。お待ちしております。

当科における腹腔鏡手術について

産婦人科 やすだ みか 安田 実加

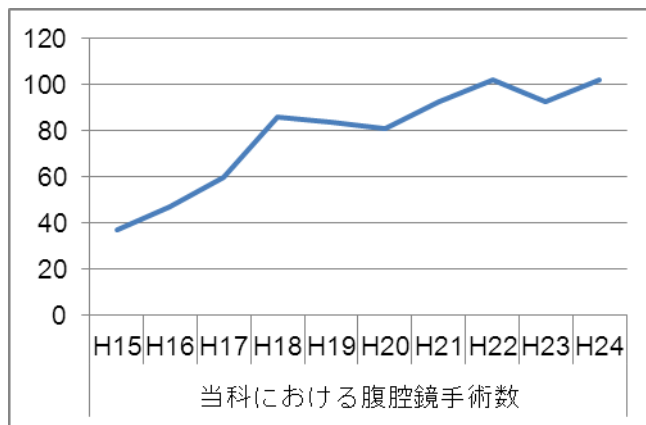
従来、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの婦人科の病気では、お腹を大きく切開して（開腹手術）治療してきました。近年、医療機器や技術の進歩により、いろいろな病気に対し内視鏡を用いて、体への負担が少ない手術が行われるようになってきています。内視鏡手術はお腹に数力所の小さな穴をあけ、ここに細いカメラや鉗子という器具をいれて手術を行います。

内視鏡手術は、従来の開腹手術と比べて、傷が小さく目立たない・術後の疼痛が少ない・術後の回復が早い・入院期間が短い・腹腔内の癒着（腸などお腹の中の臓器同士がくっついてしまうこと）が少ないなど「患者さんに優しい手術」として広がってきました。

当院でも積極的に腹腔鏡手術を施行しており、手術件数は裏頁のグラフからもわかるように年々増加しています。

困難な症例ではやはり開腹手術が必要な場合もありますが、当科ではここ数年さらに腹腔鏡の適応を広げています。良性卵巣腫瘍や子宮外妊娠はもちろん、子宮筋腫の症例に対しては、子宮の摘出だけでなく、子宮を温存して筋腫だけを摘出する術式も行っています。

また、初期の子宮体癌に対しての腹腔鏡手術は現在「高度先進医療」として一部の施設で自費診療で行われていますが、学会の働きかけにより早ければ、来年度に健康保険で治療を受けられるようになるかもしれません。当科でも早期に対応できるように準備を進めています。



<看護部 誠意と温かみのある優しい看護を目指して⑩> 8B 病棟

8B 病棟には肺腫瘍内科と消化器外科の患者さんが入院されていますが、CT や MRI などのレントゲン検査の担当もしています。今年の3月からは、内視鏡部門が増え、気管支鏡検査・大腸内視鏡検査・ポート造設術目的で入院する患者さんを外来・病棟連携してサポートしていくことができるようになりました。内視鏡などの一泊入院で検査をされる患者さんは、慣れない入院のことが多いので、不安が少なく検査に臨むことができるように、患者さんの情報を外来・病棟で共有しています。



病棟には、化学療法や放射線療法などの治療目的で入退院を繰り返す患者さんも多くおられます。患者さんの受け持ち看護師が同じスタッフとなるように努め、新人からベテラン看護師までチーム一丸となって、患者さんに寄り添い支える看護を目標に実践しています。そのため、患者さんにとっての最適なケアの提供及び看護の質の向上を目指して、最新の技術に関する勉強会を活発に行っています。その勉強会では、ベテラン看護師ならではのさまざまな体験談に基づいた経験知も共有しています。

自宅でくつろいでいるような環境も提供したいと思い、談話室は季節感あふれる装飾を施しています。また、患者さんとのコミュニケーションも大切にしたいと考え、患者さんと談笑しながら飾ることもあります。今はハロウィンの装飾です。外来に来られた患者さんが、飾りと看護師との会話を楽しみに訪れられますが、私たちも楽しみにしています。



これからも、若手からベテランまで温かみのある優しい看護を実践していきたいと思いを。

10月の教室案内

*カンガルー教室	●	10月2・9・16・23日	午後1時～	第1会議室
*禁煙教室	●	10月 3 日	午後3時30分～	医療情報コーナー
*喘息教室	●	10月 17 日	午後2時～	第2会議室

【これから皮膚科外来を受診しようとする患者様へ】

皮膚科外来は、これまで大変混み合っており、特に初診の患者様に長時間お待ちいただく場合が増えております。

当センターはアレルギー性皮膚疾患などの専門医療機関であり、他の診療機関では治療が困難な重い症状の患者様に対して重点的な治療を行っていくことが当センターの役割と考えております。

こうした状況に鑑み、平成25年11月1日から、皮膚科外来におきましては、初診の対象を、「他の医療機関からの紹介状をお持ちの患者様」のみとさせていただきます。

ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。